

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月 (書面にて開催)
- 3 開催場所 書面にて開催
- 4 参加者 委 員 長倉 守 岐阜大学大学院教育学研究科准教授  
奥村 篤 各務原市立中央中学校長 (欠席)  
小川 陽子 新生こどもえん園長  
尾関 淳 各務原市 市長公室 町づくり推進課 課長  
堀 善子 各務原市教育委員会総務課 ふるさと教育アドバイザー  
檜田 邦繁 本校PTA会長  
  
学 校 側 細井 恒樹 校長  
溝下 肇 教頭  
関谷 十糸子 教頭  
堀 美和子 事務長  
美濃輪 智彦 教務部長  
松久 潤 生徒指導部長  
原 裕子 進路指導部長  
片桐 豊 渉外部長

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 各分掌による自己評価について

##### ア 教務部(「授業改善」を含む)

##### 意見1

生徒による授業評価を授業改善に取り込むなど、生徒の実態に合った授業に努力して取り組んでいる。「わかる」授業は、生徒の状況により毎年変わっていくため、その状況に合わせ授業を改善していくことは大変だが、引き続き生徒の学力向上に努めてほしい。

##### 意見2

生徒による授業評価は、指導者の授業改善に生かす部分と生徒自身が振り返り、次への目標をもたせることの二面性があり、非常によい取組である。授業評価の結果を生徒側、教員側のそれぞれがどのように生かしていくのか、来年度へ向けた改善方策案として位置づけてあり、方向性がよくわかる。

##### 意見3

「①授業改善に向けられた実践を行うことができた」が、Bとなっているが、生徒対象のアンケートで「授業中の指示・発問・説明など明確で分かり易い」が77.3%、「授業の進む早さはちょうど良い」が71.6%となっていることから、A評価でもよいのではないかと。

→高評価をいただくことはありがたいが、不十分な点も多いため、今年度の評価は「B」とし、来年度は「A」を目指す。

#### 意見4

「基礎的・基本的な知識」を身につけるために、学校が真摯に取り組んできているのがわかる。ICT 機器の活用は、今後「基礎的・基本的な技能」となるので、スタディサプリ以外のアプリ(例えば、ロイロノート)の利用も視野に入れ、検討されてはどうか。

→「Teams」等既に使用しているアプリで代替できるため、現時点では他のアプリの使用は考えていない。(現時点でも用途の似た他のアプリを複数使用しており、むしろ精選を考えている。)

#### 意見5

語学留学も開催して欲しい。

→次年度は姉妹校であるオーストラリアのケンモア高校への研修旅行を実施できるよう準備を進めている。

#### 意見6

「情報」科目に関し、プログラミングなどを生徒同士で教え合うことで、クラス全体の理解が進むとともに、教える生徒もコミュニケーション能力が向上したり、自己有用感が向上したりするなどの良い変化が見られることが期待できる。

#### 意見7

働き方改革の一環として、教材などの準備を他の先生と協力して行う。一人で悩まず周りとの協力して生徒のために自らの学びを深めてより良い教育につなげていくとよい。

### イ 生徒指導部

#### 意見1

今年度の重点目標の達成に向け、教職員が一丸となって生徒が安心して学ぶ環境を作るなどの取り組みが見られる。

#### 意見2

自転車通学者が県下でも多い学校であるが、事故件数が減ってきていることは非常に良いことである。

#### 意見3

自転車の運転マナーが良いと、自転車事故を防ぐだけでなく地域の方に良い印象を与えることもできるので、継続的に指導を望む。

#### 意見4

岐阜県自転車条例に加え、改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されるので、ヘルメット着用を促していく必要がある。

#### 意見5

制服が変更したことにより、ネクタイやリボンの着用状況が良くなった。外部から見ても、各務原高校の生徒はとても好感の持てる。また、学校訪問時には生徒からあいさつをするので、好感が持てる。

## 意見6

近隣で働く者として、最近自転車のマナーが良くなったと感じる。一方、雨天時等の保護者による送迎の車の危ない場所(カーブや交差点付近)での乗降車は特に危険に感じることもある。

## ウ 進路指導部(「進路学習」を含む)

### 意見1

社会にはどのような職業があり、地域や人々に貢献できているかということを知っているのは、自分の夢や進路を定めるために大切なことである。来年度の改善方策で、インターンシップやキャリア教育を充実させるという項目があるが、職業などについて生徒に実体験として記憶に残る機会をたくさん与えられることを期待する。

### 意見2

一層複雑化したり、年によって変遷したりする入試制度に丁寧に対応できている。単なる進学指導にとどまらず、キャリア教育としてどのような地域社会人になっていくのか、目的意識を抱かせ、生徒自身が考え模索できる機会が増えるといい。

### 意見3

総合型選抜や学校推薦型選抜などの選択肢が増えているため、生徒にとってプラスになるよう小論文や面接指導にももっと力を入れるといい。進路指導の評価は、学校全体でBよりもAを目指し、教員も「よい指導ができている」と自信を持って言えるようになるといい。

### 意見4

1年から3年までの3年間で俯瞰的した継続的な進路指導のカリキュラムがあるのは非常に良い。小論文指導や面接指導も、今後一層必要だが、まずは基礎学力の定着、そして新聞やインターネットを通し社会の動きに目向ける気持ちの醸成も肝心である。

## エ 特別活動部

### 意見1

全国高校サッカー選手権岐阜県予選の決勝戦進出は、素晴らしかった。このような業績は、サッカー部員や部顧問の努力が学校全体に行き渡り、学校として一つになれる良い機会であったと感じた。

### 意見2

実績を上げている部活動がいくつかある。是非その活躍を本校の魅力の1つとしてアピールしていくといい。また、コロナ禍において存分に行えなかった文化祭や体育祭等を復活させ、生徒に高校生活の楽しみを味わってもらえるとよい。

### 意見3

学校行事や部活と学習の両立は難しいとかもしれないが、生徒が充実した学校生活を送れるよう、生徒の自主性を引き出しながら取り組めると良い。

### 意見4

部活動の加入率は低いかもしいが、例えばスポーツのクラブチームに加入したり、地域の吹奏楽団

に入っていたりして、部活動以外で活躍できる場もたくさんあるので、加入率にこだわる必要はないと考える。

#### 意見5

教職員の働き方改革もあり、部の統廃合も必要であるが、生徒たちの気持ちも踏まえたサポート体制・土日の部活動の地域移行を期待したい。(現実的には休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保が難しい。)

#### オ 保健厚生部

##### 意見1

コロナ感染者が比較的少ないというのは取り組みの成果である。

##### 意見2

命を守る訓練や防災係を中心とした生徒の意識を高める取り組みが、防災意識の向上に役に立っていると推測される。来年度には、改善方策のように生徒会主体で実体験ができる機会を増すとさらに効果が高まるであろう。

##### 意見3

5月に新型コロナウイルス感染症の分類が緩和されると、一時的に爆発的に感染者が増加するかもしれないので、引き続きの対策が必要である。

##### 意見4

アンケートの結果にもあるように、いつ来校しても掃除が行き届いている。

##### 意見5

地震・災害の対応について地域の防災マップを活用を推奨する。また災害図上訓練(DIG)などを用いた演習も行えるとよい。

→防災マップは既に活用している。また防災の専門家を招いて生徒や職員対象の講演・演習を毎年行っている。今後は「命を守る訓練」をさらに実際の災害時に即した形で行えるよう検討していきたい。

#### カ 図書情報部

##### 意見1

生徒の活字離れ、読書離れを防ぐよう、工夫を凝らした事業を行なわれている。引き続き、生徒のための図書館を目指してほしい。

##### 意見2

スマートフォンが普及した現在の生活の中で、SNSなどで知らず知らずのうちに人を傷つけるなど人権侵害をしないよう、相手を思いやる気持ちを醸成し、情報モラルを徹底するなど、引き続き、情報モラル教育の実践を期待する。

##### 意見3

素晴らしい図書館ができたので、もっと活用してほしい。そして生徒には多くの本を読んでもらいたい。

#### 意見4

タブレットの導入やWi-Fi環境が進んだことで、視聴覚や放送機器の活用方法が変わっていくことを念頭に、利用の仕方や方法などを必要に応じて見直しができるとうい。

#### 意見5

読書の啓発や、芸術鑑賞、視聴覚設備の整備等様々な視点に立った取り組みがなされており、素晴らしいことである。

### キ 教育相談部

#### 意見1

多様な背景を持つ学生に対応されていることがわかる。いろいろとアンテナを立てて、早期対応とアフターケアの継続をお願いしたい。外部の専門家の活用も大切である。

→スクール相談員だけでなく、資格を持ったスクールカウンセラーも活用している。

#### 意見2

スクール相談員を常駐しており、悩みを抱えた生徒が気軽にすぐに相談に行くことができ、大切な時期の生徒や保護者にしっかりと寄り添って支援につなぐことができている。総合評価はAでもよいのではないか。

→やれることは他にもある。今年度の評価はBのままとし、次年度は評価がAになるように取り組みたい。

#### 意見3

コロナ禍の影響か、ICT機器の広がりか、個々の特性か、何を背景としているのかは定かではないが、目の前の中学生を見ていると、人との関わりに苦手意識を抱いている生徒、人との関わりをそもそも拒否する生徒などが確実に増えてきている実感がする。高校でも同じような傾向があるのかもしれないが、ますます個々の生徒の豊かな成長を支えるために、状況を把握し、必要な支援等をタイムリーに行えるかが重要であると感じる。教職員の資質向上、外部機関との連携、校内でのネットワークなど、来年度へ向けた取組の充実に期待する。

#### 意見4

心のアンケートや生活に関するアンケート等たくさんの情報収集をし、きちんと対応できている。こうしたデータは、今後の方針の参考となるよう、更に活用したり分析したりするとよい。

### ク 渉外部

#### 意見1

PTAなどは社会情勢の変化に伴い、改善が求められる。学校主導では難しい案件かもしれないが、PTAと連携を取りながら改善・精選に取り組んでいけるとよい。

## (2) 地域課題探究型学習（ふるさと教育）について

#### 意見1

はじめから地域に目を向け、高校生らしい主体的・協働的な学びができる生徒ばかりではない。そこで、HOP・STEP・JUMPの図のように段階的に生徒の資質能力を育て、単なる調べ学習で終わらず、地域と関わり・貢献する場も設け、自信をもたせて将来につなげてほしい。

## 意見2

通学している学校だけでなく、その地域を知ることは、各務原市に愛着がわくきっかけとなる。

## 意見3

少子化で地域の人材不足の中、生徒が地域課題解決に向けた体験をすることは、将来の地域社会にはとても大切なことであり、今後も継続して行ってほしい。

## 意見4

地域の方を巻き込むことで地域や学校に負担がかかってしまうこともよくある。生徒や地域の方の両方がWin-Winの関係となるよう丁寧に調整できるとよい。

## 意見5

新総合体育館のワークショップでは、たくさんの意見が出され、市としても有意義な時間であった。「インスタ映えするようなスポットがあるとよい」という高校生ならではの意見があり、市の会議で紹介された。発表会では、課題に対してよく考えられ、多くの意見が出て探究が進んでいたと聴講者から聞いた。これを機会に、生徒の視野が広がるとよい。

## 意見6

1年から3年にかけて連続した学びの中に位置づけられているのは評価できる。

## 意見7

ひとつ気になるのは、「とりかかり」についてで、各テーマについて、地域アドバイザーの講義を聞くことから始まるのであれば、生徒はそのテーマについて自分なりの問題意識をどのように設定するのが難しいのではないか。しっかりとした問題意識があれば、その後の調査や発表も充実したものとなると思われる。

## 意見8

ふるさとを思い、いつまでも心に残るものを大切にしてほしい。

## 意見9

仲間とのコミュニケーション、助け合い、その過程でいろいろと学んでほしい。

### (3)その他（本校の教育活動全般について）

#### 意見1

各分掌の自己評価において、スクールポリシーとの関わりが一層見えるように記述されるとよい。具体的には、重点目標や取組、指標、実践等にスクールポリシーのキーワードを盛り込んで記述すること等が考えられる。

#### 例)

- 教務部／図書情報部は、次の「育てたい生徒像(グラデュエーションポリシー)」に、それぞれの立場(分掌)からどう貢献し、どう生徒の現状を考えているのか。

→①基礎的、基本的な知識と技能を身に付け、向上心や挑戦心をもつ、知性と創造性を備えた生徒

→次年度の重点目標等に生かしたい。

#### 意見2

今回の資料は、各部の取組や年間を通じた各教育活動等、個別の状況の総括として「育てたい生徒像(グラデュエーションポリシー)」が育っているのかについては見えにくい状況である。今後はこうした観点についても記述を加えていただきたい。そしてスクールポリシーが形骸化せず、教育活動・学校運営改善の手段として、趣旨に沿って有効に機能すること期待する。

#### 意見3

各務原市役所 まちづくり推進課において、地域活動やまちづくり推進、また、交通安全など様々な業務を行っているが、今後も学校と連携できるとよい。

#### 意見4

運営協議会を通して学校の取組みを知ることができた。本校は、当市の名前を冠する高校であるから、その誇りを持った卒業生が輩出されていくことを願う。

#### 意見5

グローバル社会で、国際交流推進、部活動活性化、各務原高校に入学してよかったと思えることをひとつでも持って卒業してもらいたい。